

## 外来で気をつけたいドーピング！ 防ごう、うっかりドーピング！ クリーンな新潟国体を！

新潟県医師会報平成20年4月、7月号(697号、700号)にドーピングについて寄稿させていただきました。いよいよ、プレ国体も終わり、本年9月、10月にトキめき新潟国体・トキめき新潟大会(障害者スポーツ大会)が開催されます。国体でドーピング検査が実施されるようになって、新潟大会で7回目となります。検査件数も各大会で200件は優に越えます。日本の唯一のドーピング検査実施機関である(財)日本アンチ・ドーピング機構(JADA)が国体でも、中立、公正な立場でドーピング検査を実施します。その基準、実施方法は世界アンチ・ドーピング機構(WADA)が定めるコードで行われます。このコードは年1回改定され、WADAは毎年1月1日から実施します。2009年1月1日からの基準で我々、医師に大きく関係することは、治療目的に使用する薬剤の除外措置(Therapeutic Use Exemptions:TUE)が大きく変わったことです。略式TUEが廃止され標準TUEのみになりました。このことにより特に「気管支喘息」の治療薬は特に注意を要します。今まで略式TUEの対象であった吸入ベータ2作用薬(サルブタモール、サルメテロール、ホルモテロール、テルブタリン)も標準TUEの申請が必要になりました。そのための完全な医療記録の提出を求められています。要は、選手が本当に喘息なのかどうか厳しく問われています。気道可逆性試験、気道過敏性誘発試験等の開業医では危険も伴う検査も求められています。TUEは大会参加21日前までに競技者が申請しなければいけません。認められれば有効期間は1年間です。是非、喘息の選手には早めに検査、申請をすすめて下さい。

Q: どんな薬が禁止されていますか?

- ・ カゼ薬(エフェドリン)、漢方薬も注意!
  - ・ 男性化ステロイド、蛋白同化薬
  - ・ エリスロポエチン
  - ・ 成長ホルモン
  - ・ インシュリン(糖尿病)
  - ・ 利尿薬、遮断薬(高血圧)
  - ・  $\beta$ 2作用薬(ぜんそく!)
  - ・ プロベネシド(痛風!) .....
- ※使用できるかどうかの問い合わせは下記までお願いいたします。  
新潟県薬剤師会・薬事情報センター  
FAX025-281-7735
- .....その他たくさんあります。

Q: 治療のため、どうしても禁止物質を使いたい?

- ・ 所定の用紙で申請し、許可されれば使用できます。(治療目的使用に係る除外措置:TUE)
  - ・ 一年間有効です。
  - ・ 特に2009年1月1日よりTUEが厳しくなっています。喘息での吸入 $\beta$ 2作用薬(サルブタモール、サルメテロール、ホルモテロール、テルブタリン)はTUEの申請が必要です。
  - ・ 糖質コルチコイドの非全身的使用(関節内注射、関節周囲注射、腱周囲注射、硬膜外注射、皮内注射、吸入)はTUEは不要です。しかし、選手は使用薬剤を申請する必要があります。
- ※ TUEの詳細はJADAのHPを御参照下さい。また用紙をダウンロードして下さい。

Q: 静脈内注射は?

- ・ 注入される物質が禁止されてなく、なおかつその量が50mlを越えなければ可能です。正当な医学的使用は禁止されません。(救急処置、外科的処置、good medical practice(?)といっています...)ただし運動による単なる脱水(?)に対しての注射は禁止されます。

Q: 喘息でのTUE申請の提出記録の内容は?

- ① 全ての病歴
- ② 特に呼吸器系の診療所見
- ③ FEV1の測定と呼吸機能検査結果
- ④ 気管支収縮の可逆性試験(気道閉塞のある場合)
- ⑤ 気道過敏性を証明する気管支誘発試験(可逆的気道閉塞がない場合)
- ⑥ 担当医の専門分野、氏名、住所

※ JADAのHP、吸入 $\beta$ 2作用薬使用に関する情報提供書をダウンロードして下さい。